

一般財団法人國學院大學院友会令和5年度事業計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

◎新型コロナウイルス感染症に対するさまざまな制約も落ち着きを見せてきた。本部・支部ともに諸行事や計画は引き続き安全安心を念頭に置きながら、母校や学生の支援、院友相互のつながりを改めて拡大に向けていく。

I 【育成事業】

1) 國學院大學学生等支援

①「学術・スポーツ振興資金」制度による支援〔継続実施〕

・規程に基づき2年間、令和4年度・5年度を継続して支援する。(2年目)

イ：学術部門 … 母校所蔵の貴重資料デジタル化に100,000円を支援する。

ロ：スポーツ部門 … 硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部に各700,000円を支援する。

・母校第二強化部会で好成績を収めた卓球部・ソフトテニス部の2団体に、各300,000円を支援する。

・支援部会、支援方法の検討を行う。

②教職を目指す学生の支援〔継続実施〕

・「教職の國學院」への支援として、「学習指導要領」を小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を目指す学生に贈呈する。渋谷キャンパス、たまプラーザキャンパス、での教職志望学生が対象。

③「國學院大學キャリア講座」の開催〔継続実施〕

・内 容：母校キャリアサポート課と連携して、新たに社会人となる学生達が、必要な知識等を学ぶ講座。
内容はキャリアサポート課と相談し、学生の要望や社会の要請に則したものにす。

・講 師：講師未定

・日 時：未定 ・会 場：院友会館(対面の場合) ・受講料：無料

・共 催：國學院大學

④「院友会長賞」による支援 (学生の部)〔継続実施〕

・母校の名声を高めた学生(団体も可)に贈呈する。副賞 100,000円。

⑤大学と連携して、学生の就職支援活動〔継続実施〕

・本部が主体的に、全国各支部・部会、職域会等と連携して、Uターンや就職活動の支援、アドバイス、情報提供等の支援体制を構築する。コロナ禍で本部・支部の連携が難しかったが、希望する学生が地方で活躍の場を持てるように、改めて実施していく。

⑥大学が開催する若手OB・OGによる就職アドバイス会等への協力〔継続事業〕

・キャリアサポート課で実施している3年生を対象とした、若手院友による業種別説明会、アドバイス会等に協力する。若手院友同士、また参加学生への支援や交流等にも協力する。

⑦日本の伝統文化体験支援

・学生、留学生を主な対象として、日本の伝統文化等に関する学び・体験の機会を必要に応じて支援する。
／大学国際交流課の茶道体験教室(5月等予定)開催を支援する。

⑧協力団体「院友学術振興会」との協力連携を通して学術の振興に寄与する〔継続実施〕

・本会の協力団体である「院友学術振興会」(母校で学位を得た方々の会)の活動を支援する。

・100,000円の特別支援を実施する。(論文集「新國學」編集発行等。)

2) 会館施設の貸与、又は経費の補助

①育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の貸与、経費の補助〔継続実施〕

・学生部会の諸活動の再開をサポートしながら支援する。

②國學院大學の授業、諸講座への会館施設の貸与、経費の補助〔継続実施〕

・大学が実施する学生のための会館利用に際して、可能な限り協力、支援する。

3) 全国の高校生を対象とした文化事業支援

①「第27回全国高校生創作コンテスト」に協力支援する。〔継続実施〕

・主 催：國學院大學、高校生新聞社(共催)

・協 賛：本会、若木育成会

・後 援：文部科学省 他(予定)

②「第19回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」に協力支援する。〔継続実施〕

- ・主催：國學院大學、高校生新聞社（共催）
- ・協賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部
- ・後援：農林水産省、全国高等学校校長協会 他（予定）

II【講座・講演会事業】

①『風土記を読む（第6期）』～『出雲國風土記』を読む～の開催

- ・前期5月から実施（対面）する。
- ・講師：谷口雅博氏（國學院大學文学部教授）
- ・日時：5月16日、6月13日、7月11日、9月12日、10月17日、11月14日、12月12日、令和6年1月23日、2月6日、3月12日 全10回 毎火曜日 13:30～15:00
- ・会場：院友会館3階大会議室 ・定員：50名

②院友学術振興会公開講座『國學院の古典』（第25回）の開催

- ・年明けに実施（対面）する。
- ・日時：令和6年1月10（水）、11（木）、12（金）、13（土）の4日間を予定。
※1日、1コマ・1講師で実施。
- ・会場：院友会館 ・定員：未定 ・後援：國學院大學

③生活芸術講座の開催〔継続実施〕

- ・一般社団法人儀礼文化学会との共催講座。
- ・儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的芸術的価値として「美」を考えていく講座。日本文化の形と心を考え、体験する講座。
- ・日時／令和5年10月8日（日） 14:00～16:00
- ・内容／「宗教の儀礼文化」
- ・講師／國學院大學神道文化学部教授 西岡和彦氏
- ・定員：未定 ・会場：院友会館3階大会議室

④令和5年度 一般公開講演会の開催

- ・院友大会の縮小開催に伴い、一般公開講演会は大会と別途に秋以降に開催する予定。

⑤大規模災害被災地公益事業 〔平成26年度から実施〕

- ・当該地域でのこの事業は、比較的規模が大きくなることでもあり、本年度は自粛とする。

⑥「公益事業実施規程」に基づき、《もっと日本を学ぼう》の統一テーマのもと、公益的な講演会やさまざまな事業を、支部と共に地域で実施。 〔継続実施〕

- ・この実施規程に基づく支部主管の一般対象の公益事業は、上限300,000円。
- ・支部総会開催時の講演会は、地域、会場のガイドラインに即して開催する。
令和5年度は6支部とする。但しその地域の状況により、自粛や中止をお願いすることもある。
（実施予定支部：神奈川県支部、石川県支部、静岡県中部支部、他）

⑦サロン・コンサートの開催〔継続実施〕

- ・クラシック、ジャズ、タンゴなどジャンルを問わず、幅広い楽しいコンサートを、地域社会貢献として実施する。開催時期は状況を見ながら、7月、12月等、複数回を予定していく。

⑧新規講座・講演会等実施

- ・時節にかなった講座や講演会の開催を検討する。

III【会館施設提供事業】〔継続実施〕

本法人が有する「院友会館」が地域の方々の交流の場となり、さらに地域が活性化するよう利用支援に取り組む。引き続き安全安心を確保しながら、対応を行う。

IV【特定寄付】

1) 國學院大學への協力 〔継続実施〕

- ①「学生・生徒等への奨学基金」として、1,000,000円の寄付を行う。
- ②國學院大學が進めている全国の高校生対象文化事業への寄付200,000円の支援を行う。

V【同窓会事業】

1) 会報発行発送事業

①《院友会報》の編集発行 〔継続実施〕

- ・「384号」…残暑見舞号/8月10日付、8月下旬発送予定。：住所判明者全員
8面・広告/会費・学術スポーツ・維持寄付金を依頼。

- ・「385号」… 新年号／1月1日付、12月上旬発送予定。：会費納入者
8面・広告／学術スポーツ・維持寄付金を依頼。
- ・「386号」… 新院友歓迎号／3月20日（日）付、卒業式に発行3月下旬発送予定。：住所判明者全員
8面・広告／会費・学術スポーツ・維持寄付金を依頼。
- ・毎号、プレゼント企画を実施する。〔継続実施〕

2) 会員統括組織化事業

(1) 《支部長会議：通算第43回》の開催

- ・日 時：5月27日（土）13:30～16:00（予定）
- ・会 場：國學院大學渋谷キャンパス 常磐松ホール
- ・備 考：支部長もしくは事務局代表者、各支部1名を全国各支部・協力団体から招聘
／「支部運営費」「支部活動」「個人情報」等の事務的事項、公益目的事業実施や学生支援などの説明。オンラインでの参加も実施する。
- ・会議参加者を対象に講演会を実施。

(2) 令和5年度院友大会の開催／事前申込制として対面で開催する。

- ・日 時：5月27日（土）17:00～18:30
- ・会 場：國學院大學院友会館
- ・定 員：200名（院友限定）

(3) 母校ホームカミングデーへの協力 〔継続実施〕

- ・日 時：令和5年10月9日（月・スポーツの日）
- ・会 場：詳細未定。

(4) 《新年院友交歓会》の開催

- ・日 時：令和6年1月27日（土）予定。 ・会 場：院友会館

(5) 本会公式ホームページの活用 → <https://www.kokugakuin.or.jp> 〔継続実施〕

- ・母校・学生・各支部や院友情報の発信及び会館の宣伝・広報等、充実を図る。
- ・Twitterによる情報発信。
- ・ホームページでのお知らせ、ニュース、支部情報等に、Twitterも加えて、発信を行う。

(6) 院友会員のデータ管理 〔継続実施〕

- ①院友会報の発送先調査やホームページの住所変更届等による会員情報の更新
- ②大学と連携して、卒業生の住所調査を行う。
- ③本会会費管理、発送業務管理。院友の個人情報としては大学と共同利用する。

(7) 各支部総会等への出席

- ・地域の状況、支部の意向など相談しながら、できる限り参加し情報交換や交流を行う。
本会、大学ともに1名ずつの参加とする。参加できない場合のZoomでのご挨拶も試みる。
- ・会費等への協力依頼も合わせて行う。
- ・理事会でも支部の様子、意見、総会に関する事、支部運営費に係ること等、情報を共有する。

(8) 支部活動について

- ・支部総会等開催の場合／地域、会場等のガイドラインに即して開催する。
- ・支部総会等自粛の場合／「支部運営費」を使って会員との連絡を取る。
 - ・支部会員へ、総会自粛のお知らせ等を送付する。（封書、はがき等）
 - ・「支部通信」「支部会報」等、情報交換の場を奨励する。
- ・Zoomの貸出し／支部内の連絡やつながりの支援。
- ・本部ホームページ「支部情報」、Twitterの有効活用。
／会員への呼びかけ、院友のお店情報、催し、など本部と連携して情報を発信する。

(9) 「支部運営費」について

- ・「支部運営費」の取扱いについて、支部への「預け金」等の対応を含め、年度を繰越した使用もお願いする。令和4年度分も令和5年度での繰り越し使用可とする。

(10) 院友の交流／院友ゴルフクラブコンペなどへの協力。〔継続実施〕

- ・院友ゴルフクラブのコンペは、安全安心を考慮し、開催の予定。

(11) その他

- ・支部総会等出席者への記念品を作製する。
- ・卒業記念品等の検討と実施。

3) 同窓会共通事業

- (1) 「院友会長賞」の贈呈 (院友の部) [継続実施]
 - ・学術、スポーツ、社会貢献などの各分野において、母校の名声を高めた顕著な活動を称える。
 - ・院友(団体も可)に贈呈する。副賞 100,000 円。
- (2) 大学への協力・連携
 - ・「院友子弟等特別選考入学試験制度」の広報。[継続実施]
 - ・大学実施の「神職養成講習会」への協力。
／大学の関係部署とも相談しながら協力をする。
 - ・「國學院カード」新規加入への促進協力。[継続実施]
 - ・大学開催行事、式典等に人的な協力を行う。その他、状況により必要な協力を行う。
 - ・母校校友課との連携
／諸事業・行事について協力連携し、若木育成会(在学生保証人(ご父母等)の会)と本会・支部との交流を推進する。
- (4) 院友の図書 整理受入等 [継続実施]
 - ・院友等の寄贈図書受入れ。会報・ホームページ等でお知らせ。
 - ・整理やデータとしての蓄積を改めて検討する。
- (5) 協力団体との連携 [継続実施]
 - ・院友経済会、マスコミ院友会、院友学術振興会、法学部OB・OG会の協力4団体との連携強化のため必要事業に協力する。
- (6) 会員へのサービス／電報サービスの実施 [継続実施]
 - ・結婚・叙勲・褒章・褒賞等への祝電等を贈る。
- (7) 会費・寄付金等納入促進を図る [継続実施]
 - ・必要な依頼を行う。／支部、職域、会社、学校等、協力依頼を行う。
- (8) 研修等の実施／職員の研修。業務関係等のセミナー、研修への参加を支援する。[継続実施]
 - ・大学、法人傘下諸学校見学など、機会があれば見聞を広める。
 - ・個人情報、経理関係等、日常業務に必要な事項の研修。

VI【収益事業】 [継続実施]

- ・安全安心を図りながら事業を推進し、会館の利用促進に努める。特に活動を再開する学生部会等には細やかに対応していく。
- ・会館設備等の修理・補修の実施。(令和5年度は竣工36年目)
／電話設備更新は積立金の取崩にて実施する。(1,350,000円余の見込)
- ・感染症対策として消毒・除菌関係の備品の必要な補充・購入等の対応をする。
- ・新規収益事業を検討する。(例：株式会社アローズ・ケイ・渋谷、生活協同組合等と共に)

VII【法人事業】 [継続実施]

- ・定期提出書類の提出。…監査・理事会・評議員会の手続きを経て、「公益目的支出計画実施報告書」を行政庁である内閣府へ提出する。
 - ・業務執行理事連絡会議の開催。
 - ・監査を実施する(年二回)。
- (1) 評議員会の開催…定款に基づき、定時評議員会を開催する。
 - (2) 理事会の開催…定款に基づき、理事会を開催する。
 - (3) 「個人情報保護委員会」を開催する。
 - (4) 基金、会館修繕への積立も行う。

VIII【その他 共通事項】

- (1) 危機管理など／職員、来館者の安全・衛生面での感染対策の徹底を図る。
 - ・防災計画等を基に、日常での防災管理の徹底と、防災訓練を実施する。
- (2) 新たな中期計画の作成／今後の本会の運営、財政等について組織強化を検討する。
- (3) 職員中途採用の実施。計画的に職員の採用を行い、後継者の育成をする。
- (4) 本会発足140周年(令和8年・2026年)に向けた事業の検討。
※業務執行理事を中心に、テーマ、企画や準備など、検討していく。

以 上